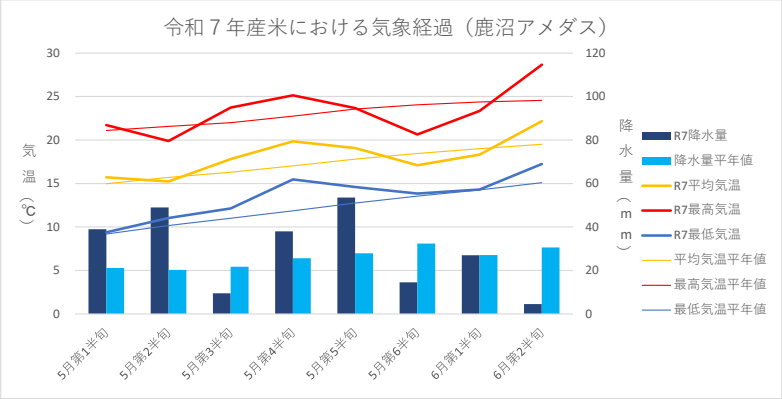
令和7(2025)年産　水稲生育診断速報第2号

令和 7(2025)年6月19日
上都賀農業振興事務所

○ 5月の連休移植では、茎数が確保されているため、「間断かん水」を行いましょう。
○ 葉色がやや濃いため、葉いもちの発生には注意しましょう。
○ イネミズゾウムシの発生が多い場合、防除を行いましょう。

気象経過(鹿沼アメダス)

2025 年5月～6月第2半旬の平均気温は5月第6半旬～6月第1半旬で平年より低くなりましたが、期間の降水量は114%と多く推移しました。(6月10日現在)



調査結果の概要(コシヒカリ)

上都賀地域では、過去の平均と比べ、草丈は「平年並～長く」、茎数は「平年並～少ない」でほ場によって差が大きく、葉色は「やや濃い」状況でした。

(調査データ)　表　令和７年産生育診断ほ調査結果と過去の平均との比較

調査地点	項目	草丈	茎数	1株茎数	葉齢	葉色板	
		cm	本/㎡	本/株		葉色板	SPAD
日光市木和田島	今年	37.1	378.4	20.0	8.6	4.5	42.0
	過去5年平均	38.1	501.2	25.9	8.1	3.9	40.3
	平均値との差	-1.0	-122.8	-5.9	0.5	0.6	1.7
鹿沼市久野	今年	38.6	264.4	16.5	8.9	4.0	37.7
	過去4年平均	32.1	274.8	16.6	8.1	3.4	34.6
	平均値との差	6.5	-10.4	-0.1	0.9	0.6	3.2

※鹿沼市久野はR2～5の４カ年平均

今後の技術対策

(1) 目標

5月上旬に移植したほ場や地力の高いほ場では、すでに必要茎数が確保されているほ場が多いため、「間断かん水」を開始しましょう。

移植が遅いほ場では、5月第6半旬～6月第1半旬の低温の影響の可能性があるため、必要茎数を確保してから、「間断かん水」を始めましょう。

必要茎数:18～20 本/株

※移植60株/坪の場合。生育が中庸な株の平均。

(2) 斑点米カメムシ対策:水田内の除草と畦畔の除草を行いましょう。

(3) その他の病害虫対策

《いもち病(葉いもち)》

6/11 に気象条件から感染好適日が出現しています。ほ場を見回り、発生時には速やかな薬剤散布をしましょう。

《イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ》

イネミズゾウムシの発生が目立つほ場では、防除を行いましょう。

写真1　日光市木和田島

写真2　鹿沼市久野

〈写真1、2ともに 6/9 撮影〉